

所属・官職 三重労働局職業安定部長
氏名 宮本 淳子 (昭和61年採用)

「自分のやる気にチャレンジ！」

本省では労政局（現在の政策統括官）、大臣官房等で勤務し、職業安定局では農山村雇用対策、若年者雇用対策、雇用安定のための助成金業務などを担当しました。

三重労働局に平成20年4月に赴任し2年目です。三重の印象は、穏やかで食べ物がおいしく、雇用失業情勢も厳しさが残るものの比較的堅調に推移し、有効求人倍率1.34倍（2月）と全国平均よりも高く、経済をみても愛知を中心に東海は元気と感じました。

しかし、10月に起こったサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機の影響等を大きく受けて急速に悪化し、翌年2月の有効求人倍率は0.55倍と29年1か月ぶりに全国平均を下回りました。ハローワークでも年末に開庁して特別相談窓口を設けるなどの対応をし、また雇用を維持する事業主に支給する雇用調整助成金の利用が急増したため対応に追われました。東海地域では外国人の集住地区が多く日本語の会話ができない求職者も多いため通訳を介しての職業相談・紹介なども行っています。離職に伴い住居を失った方の支援も開始しました。その都度必要な対策を取る職業安定行政は柔軟さが求められるサービス業です。

大変な時期をむかえています。セーフティーネットを預かる行政として大切な、困ったときこそ一層頼られる、やりがいのある仕事であると実感しています。目の前にお客さんがいなくとも、どんな部局でどんな仕事をしていてもそれは最後には、国民であるお客さんのためにつながります。大変そうだけど、それだからこそやってみたいと思っている方！待っています。

所属・官職 職業安定局雇用開発課雇用安定事業係長
氏名 中嶋未生（平成10年採用）

「一緒にがんばりましょう」

皆さん、こんにちは。私は地方で採用された後、2年間ハローワークで職業紹介と雇用保険給付の業務を経験し、平成12年度から本省に勤務しています。本省では、ハローワークのサービス推進、雇用関係の統計調査、雇用保険業務処理システムの開発、高齢者雇用対策などの職業安定行政関係の業務に携わり、現在、高齢者や障害者など就職が困難な方たちの就職を促進するための助成金及び給付金の担当をしています。一口に職業安定行政と言っても施策や業務は多岐に渡り、私が関わったのはまだほんの一部に過ぎません。

昨年秋以降の世界的な金融危機は労働市場に様々な形で深刻な影響を与えており、このような状況に対応するために、現在、様々な雇用対策が実施されています。特に、高齢者や障害者などの就職困難者を取り巻く状況は厳しく、昨年度こうした雇用対策の一つとして担当している助成金の制度改正を経験しました。作業の日程がタイトで残業が続きましたが、上司や同僚たちと共に協力しながら実施にこぎつけた時に感じた周囲の人達への感謝の念、達成感、安堵感と一人でも多くの人の雇用を願う気持ちは忘れられません。

さて、「職業」という言葉を辞書で引くと、その意味は「生計を維持するために日常している仕事」などと書かれています。辞書に書いてあるように、職業が経済的な意味で生活の基盤となるものであることはもちろんですが、社会参加や自己実現の手段でもあるのが職業だと思います。雇用失業情勢が厳しい今だからこそ、誰もが安心して働ける社会の実現を目指して働くことを通じて、仕事の魅力ややりがいを感じられるのではないのでしょうか。多くの人にとって身近で切実な「働くということ」の意味を問いつつ、一緒にがんばってみませんか。皆さんと一緒に働くことができる日を楽しみにお待ちしております。

所属・官職 職業安定局需給調整事業課労働者派遣事業係
氏名 恒石 拓也 (平成15年採用)

「こんな仕事をしています」

私は平成15年4月に採用され、労働局で経理業務、ハローワークで雇用保険適用業務に従事し、平成19年4月から現在に至るまで需給調整事業課の派遣・請負雇用管理係として働いています。

需給調整事業課と聞いても何をしている職場かイメージすることが難しいと思いますが、「派遣」を取り扱う仕事と言えばある程度ご理解いただけるのではないのでしょうか。具体的には、労働者派遣事業や職業紹介事業の許可の審査、法に基づき事業を適正に実施するための助言や指導監督等の業務を行っています。

職業安定行政は、たくさんの人々に触れ合いながら仕事をしています。このパンフレットをご覧になっている皆さんにとっても、雇用は非常に身近な問題として認識されているのではないのでしょうか。そんな肌で感じた問題意識に対して具体的に取り組むことのできる行政であり、大変魅力のある職場です。

労働者の方々の雇用の安定、雇用創出の拡大・確保など、安心して働ける社会のために、一緒にがんばりましょう。

所属・官職 職業安定局雇用保険給付係
氏名 奥平 雅幸 (平成17年採用)

「やりがいを求めている方へ」

パンフレットをご覧の皆様、こんにちは。

私は、大学を卒業して民間の企業に3年半勤めていました。退職後、失業状態となったわけですが、その間にハローワークで職業相談を受けた経験もあります。そのときに人間にとって、社会の中で働くことの重要性を肌で感じました。

そのうちに、国民生活に係るセーフティーネット機能としての役割であるハローワークで働くことにあこがれるようになり、がんばって勉強して平成17年に採用されました。

採用されてからはハローワークで3年間、雇用保険給付窓口で失業なさった方々の多くの声を聞きながら業務に従事しました。

平成20年4月から現在の部署で働いています。

現在の部署では、国民の皆様からの一般的な問い合わせから雇用保険給付制度の運営に関することまでおよそ全てのことを担当しており、多種多様な知識が求められます。

時には、国会まで足を運び、時には労働局・ハローワークまで足を運ぶこともあり、フットワークも求められます。毎日、考え、行動し、新しいものを作り出していく、それが今の職場です。

職業安定行政は非常に幅が広いですが、どの部門を見ても国民生活に直接関わる業務ばかりで、やりがいのある行政です。

皆様、この行政で私と一緒に働き、やりがいを分かち合いませんか。お待ちしております。

所属・官職 職業安定局総務課公共職業安定所運営企画室企画課係
氏名 永沢 みずき (平成17年採用)

「魅力的な仕事です。」

職業安定行政にご興味を持たれた皆様、こんにちは。

私は、平成20年4月より、職業安定局総務課公共職業安定所運営企画室という所で働いています。私のいる企画係では、全国に500ヶ所以上ある公共職業安定所（ハローワーク）における就職率等の目標管理や、ハローワーク利用者へのサービスの改善を行うことにより、国民ひとりひとりへの効果的かつ効率的なサービスの提供を目指しております。

私自身はもともと、行政サービスの利用者と密接に関わることのできるような分野で仕事がしたいと思い、職業安定行政に入りました。入省3年目の地方研修で、ハローワークでの窓口業務を経験する機会をいただきましたが、窓口で利用者の方とお話をさせていただく中で、職業安定行政が国民生活の根幹に関わる分野であり、ハローワークが国民の雇用を守るセーフティネットとして重要な役割を果たしていることを深く実感することができました。

厳しい雇用失業情勢が続く昨今において、職業安定行政は最も重要な分野であると言えます。話題にあがる機会が多い分、忙しい時期もありますが、やりがいを持って働くことのできる魅力的な仕事だと思います。

ご興味のある方は、ぜひいらして下さい。